

monsieur  
HIRE

僕は君を恨んでないよ。死ぬほどせつないだけだ。

# 仕立て屋 の恋

パトリス・ルコント  
監督・脚本

原作 ジョルジュ・シムノン

(ハカワ文庫刊)

音楽 マイケル・ナイマン

撮影 ドニールノワール

ミシェル・フラン

サンドリーヌ・ボネール

リュック・テュイリエ

アンドレ・ウィルムス

90年ホストン映画批評家賞外国語映画賞 1989年フランス映画  
UGC シネマゴープ 80分 配給 テラニューホレシオン  
協力 ビダイビシニアル株

USC

カンヌ映画祭を熱狂させた名作『仕立て屋の恋』が遂に日本公開!

◆「仕立て屋の恋」は魔法のように魅惑的な映画だ。

主人公たちが初めて視線を交わすすぐに、  
私たちは画面に釘づけになり、虜になってしまう。

ミシェル・ブランによって演じられる一方的な愛は、見事というしかなく、  
彼のまばたきひとつ、唇の動き一つでさえも、  
私たちの心を揺さぶる。——— ミディ・リーブル

◆ボクシングの試合を見に行き、二人の手が触れあう場面があるが、  
あれほど激情的な愛のシーンを私たちは映画で見たことがあるだろうか?

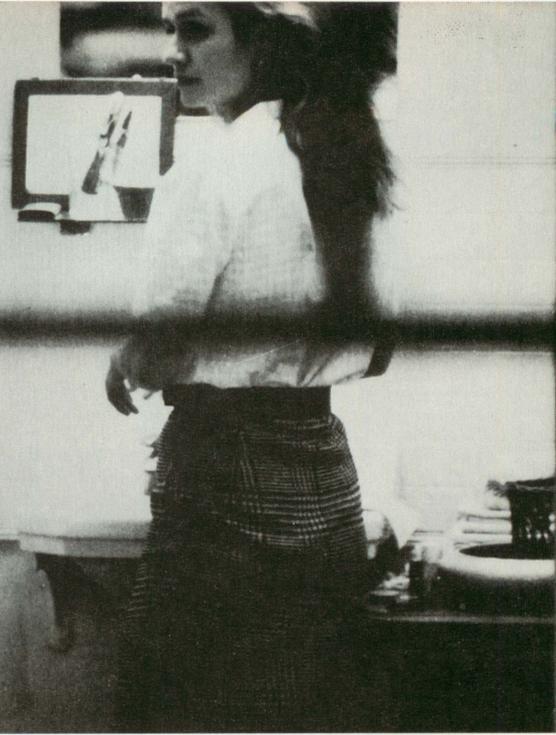
燃えるような情み深さをもちながら、官能的で欲情をそぞるシーンだ。  
真の独創的な作品であり、尊敬に値する。——— ウェスト・フランス

◆ジョルジュ・シムノンの危険な小説「ムッシュ・イールの婚約」  
を基にした、サスペンスと感動、胸を引き裂くような残酷さにあふれた  
ドラマである。また、これほど魅力的で美しいサンドリーヌ・ボネールを  
私たちが見るのは、おそらくはじめてではないだろうか。——— ル・モンド

◆ルコントは私たちが既に見抜いていたこと———

彼が偉大な映画監督であることを証明して見せた。— フィガロ・スクープ

# 仕立て屋の恋



男は見ている。暗闇にひそみ、息をこらし、憑かれたようにひとり見詰めていた。

彼の視線の先にいるのは、アパートの向かいの窓の女。覗きこまれていることにも気づかず、彼女は平気で男に総てを見せる。そして、嵐の夜、雷光が青白い能面のような男の顔を照らし、彼女にその存在を知らせてしまった瞬間から、運命は思わぬ方向に転がり始めるのだった……。

『髪結いの亭主』で一躍日本でも  
人気、実力を認められたパトリス・ルコント監督が  
シムノンの小説を基に、  
輝かしい愛と謎と裏切りの物語を作った。

奇妙な魅力のアラビア・ダンスで彩られた『髪結いの亭主』でようやく日本の映画界に正式登場を果たしたパトリス・ルコント監督。彼の名前は、フランス映画ファンならずとも、「一刻も早くその世界を知りたい」映像作家のリストに入れていたに違いない。案の上、『髪結いの亭主』は内容的にも高い評価を受けヒット。製作順で言えば『髪結いの亭主』の前作に

当たる、『仕立て屋の恋』は完成度は、『髪結い〜』以上とも評され、公開が待たれていたルコントの89年の傑作である。

主人公の仕立て屋イールを演ずるのは、ミシェル・ブラン。総ての感覚をフルに生かした演技は彼のベストと絶賛された。

見つめられる女アリスには、20代半ばにして、フランス映画界の代表的な女優となったサンドリーヌ・ボネールが扮する。恋人を愛しつつもイールにもまた恋をしてしまう複雑なキャラクターを作り上げているのはさすがである。



音楽は、ピーター・グリーナウェイとの仕事で注目され、再度の来日公演も盛況だったマイケル・ナイマン。ルコント監督たつての希望で、イールがアリスを見つめる場面に、ブラムスの「弦楽とピアノのための四重奏」に似たスタイルの曲を作るなど、また一回り大きくなったナイマン・ミュージックで聞かせてくれる。

ジョルジュ・シムノンの原作の映画化は巨匠ジャ



ン・ルノワール監督によるメグレ警視シリーズをはじめ、日本未公開作品を含めるとその数はゆうに60本を越える。本作品は恋する女を窓から覗くだけの孤独な男が、事件に巻き込まれながらも彼女を守ろうとするストーリーを基に作られているが、凡庸な監督なら単なるサスペンス・ミステリー映画としてしか撮りえなかったはずの原作を、孤独な人間たちが奏でる一組のラブストーリーに昇華させた手腕は見事なもの。

なお、アリスと恋人エミールがボクシングの試合を見に行き、彼らの背後に座ったイールがアリスを優しく愛撫するシーンの息づまるようなエロチシズム。見つめられるうちに気づいたアリスがイールを逆に追い詰める関係の逆転。その孤独な暮しぶりにより、近所の人々に殺人犯を噂され、結果、皮肉なエンディングに終る物語運びなど、決して長くない上映時間の中に見どころはいっぱい。寒々しい色調の中、時折、見られる仕立て屋ムッシュ・イール(原題)の熱くたぎった恋心を、我々も全身で感じたい。

’89年カンヌ映画祭正式出品作/’90年ポストン映画批評家賞外国映画賞/’90年セザール録音賞受賞/’89年ジョルジュ・ド・ポール年間最優秀製作者賞

# 陽春ロードショー

特別鑑賞券発売中 ¥1400 [全自由席定員制・入替制]

当日 ¥1700均一の処(税込)

シネマスクエア  
とうきゅう  
新宿ミラノ座横3F (3232) 9274

連日 11:30 1:30 3:30 5:30 7:30

●毎金・土曜はレイトショー実施 PM9:20  
※満席および上映中の入場はできません。

